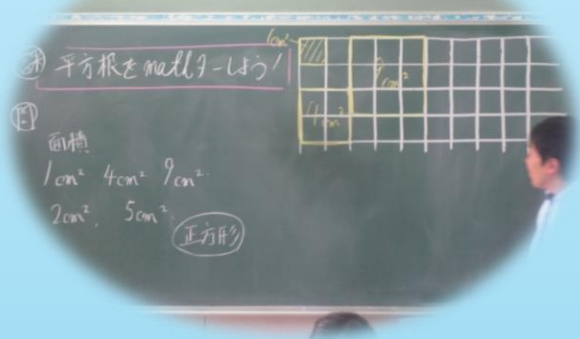


当別町立学校シラバス

学びのハンドブック



目 次

学びのハンドブックについて	1
学びのハンドブックの読み方	2
国語	3
社会	7
算数・数学	11
理科	15
生活科	19
音楽	23
図工・美術	27
保健体育	31
技術・家庭	35
外国語	39
特別支援	43

※掲載している学習課程については予定です。学年の実態やその時の状況によって時期を変更したり、補充したりすることがあります。

※義務教育学校では、中学校 1～3 年生を「7～9 年生」と呼んでおり、本書でも合わせて記載しています。

学びのハンドブックについて

当別町では、平成 29 年から小中一貫教育を本格的にスタートさせ、小中 9 年間を通した質の高い教育の実践に取り組んでいます。

こうした中、新型コロナウイルス感染症（C O V I D - 19）が世界的に猛威を振るい、教育現場においても、子どもたちの学びに大きなダメージを与えています。「学びを止めない」を合言葉に、すべての子どもたちに、タブレットが貸与され、I C T を活用した教育環境が大きく変化してきました。

当別町教育委員会では、これまで以上に、学校と家庭が連携して、子どもたちにしっかりとした学力を身につけさせるため、この度『学びのハンドブック』を作成し、全家庭に配布することといたしました。

『学びのハンドブック』の表紙に、『シラバス』とあります。『シラバス』は、もとはギリシャ語で、学校で指導する授業について、学年や学期ごとの学びの計画・内容を簡単に示したものです。本書をご覧いただくと、誰もが、本町の学校での学びの計画・内容を知ることができます。

保護者の皆様におかれましては、本書を通じて、お子様の学校での学びの計画・内容を知っていただき、家庭学習をサポートする際の手引書としてご活用ください。

また、お子様が学校で学んでいることについて話すなど、お子様とのコミュニケーションをとる際の貴重なツールとしてもご活用ください。



学びのハンドブックの読み方

【目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

9年間で身につける資質や能力など各教科の目標です。

2. 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力

(1) 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること。

(2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うこと。

(3) 言葉がもつよさや価値を認識するとともに、言語感覚を養い豊かにし、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うこと。

各教科のポイントとなる内容です。

1年

- ・楽しんで読書し、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・順序立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

2年

- ・幅広く読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

3年

- ・進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

4年

- ・進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

5年

- ・進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

6年

- ・進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力

7年(中1)

- ・読書を生活に役立て、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・論理的に考える力や、共感したり想像したりする力

8年(中2)

- ・読書を生活に役立て、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
- ・論理的に考える力や、共感したり想像したりする力

その教科で身につけたい力です。

当別町で学ぶ子どもたちの目指す姿です。

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

1 ページ目

国語科におけるICT活用

1. 情報を集める

日常生活で出た言葉や、タブレットに保存したり学習に役立てることを目指します。

1年生～9年生 読書力を高める

各教科の「ICTを活用した家庭学習」について記載しています。

2. 学習を発展させる

授業で取り組んだことを、家庭で補足・発展させることができます。

3. 学びを蓄える

学んだことをクラウド等に蓄積していくことで、自分の学びを振り返りながら、理解を深めることができます。

1年生～9年生 読書記録

■家庭での学習

学校で発表するスピーチやプレゼンテーションの原稿・資料づくりの作業を家で継続して行います。

スピーチの練習を動画で撮影することで、よりよい発表の仕方を意識することができます。

1年生～9年生 原稿づくり・発表練習

■家庭での学習

読書記録(本の表紙の写真や読み終えた日、一言感想など)を保存しておくことで、いつでも自分の学びを振り返ることができます。

2 ページ目

年間の学習課程(前期)						
国語	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	さあ はじめよう	はなの みち	くちばし おきな かぶ	おむすび こころん	ききたいな、ともだち はなし やくそく	うみのかくれんぼ
2年	ふきのとう	たんぽぽの ころも	スイミー	あつたいな、ともだち	どうぶつ園の じいさん	お手紙
3年	どなたのこと	まてたさい	見つけたよ	きこえな	きこえな	きこえな
4年	白いぼうし	アップルズで 伝える	一つの花	新聞を 作る	忘れもの ぼくは川	ごんぎつね
5年	かんがえるのって おもしろい	きいて、きいて、 きいてみよう	言葉の意味が 分かること	みんなが 通じやすい	どちらを 選びますか	新聞を読もう
6年	帰り道	笑うから楽しい 時計の時間と 心の時間	たのしみは	私たちに できること	いちばん 大事なものは	やまなし
7年	朝のりレー 野原はうたう	シンシユン	ダイコンは 大きな根?	詩の世界	人にならなかつた 弟たちに	家内文を 書く
8年	見えな だけ	「枕草子」	カマミツの 原因を探る	短歌に 親しむ	盆土産	手紙や電子 メールを書く
9年	「論語」	「論語」	「論語」	「論語」	「論語」	「論語」

3 ページ目

年間の学習課程(後期)						
国語	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	くじらぐも	じどう車 くらべ	むかしはなしを よも う	たぬきの 赤 車	どうぶつ園の 赤い 車	つうと、つうと、 大すきだよ
2年	しらせたいな、 見せたいな	じどう車を つくろう	てがみで しらせよう	お国のくしに なろう	美しいた、 二年生	すてきなところを つたえよう
3年	すがたを かんがえる大豆	三年とうげ	たから鳥の ぼうけん	ありの行列	これがたしの お気に入り	わたしたちの 学校じまん
4年	クラスみんなで 決めるには	伝説工場のよさを 伝えよう	感動を 言葉に	ウナギの なぞを追って	調べたそう、 生活調査隊	初雪の ふる日
5年	よりよい 学校生活のために	国語が教えて くれること	やなせたかし	動物のついで 入れよう	この本、 おすすめします	大迫いささんと 大迫いささん
6年	「鳥獣図鑑」を 読む	狂言 柳山伏	メディアと 人間社会	思い出を 言葉に	今、私は、 ぼくは	海の命
7年	「国語」を 読む	「国語」を 読む	「国語」を 読む	「国語」を 読む	「国語」を 読む	「国語」を 読む
8年	モアイは 誰の像か	「平家物語」 演劇の風景	「平家物語」 演劇の風景	「平家物語」 演劇の風景	「平家物語」 演劇の風景	「平家物語」 演劇の風景
9年	人工知能との 未来	和歌の世界 弘法大師の 奥の細道	和歌の世界 弘法大師の 奥の細道	和歌の世界 弘法大師の 奥の細道	和歌の世界 弘法大師の 奥の細道	和歌の世界 弘法大師の 奥の細道

4 ページ目

国語

【目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解して適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

国語のポイント（2つのキーワード）

1. 言葉による見方・考え方

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。

2. 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力

- (1) 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること。
- (2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うこと。
- (3) 言葉がもつよさや価値を認識するとともに、言語感覚を養い豊かにし、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うこと。

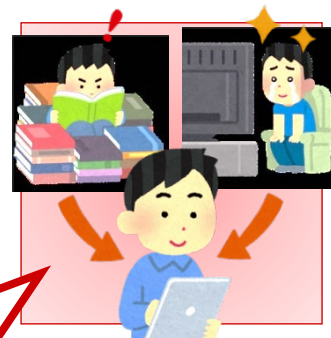
	国語科における身につけたい力
1年	・ 楽しんで読書し、我が国の言語文化に親しもうとする力
2年	・ 順序立てて考える力や、感じたり想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝える力や、自分の思いや考えをもつ力
3年	・ 幅広く読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
4年	・ 筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力
5年	・ 進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力
6年	・ 筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる力
7年 (中1)	・ 進んで読書をし、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力 ・ 筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする力
8年 (中2)	・ 読書を生活に役立て、我が国の言語文化に親しみ、理解しようとする力 ・ 論理的に考える力や、共感したり想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力
9年 (中3)	・ 読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に親しみ理解する力 ・ 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力 ・ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

国語科におけるICT活用

1. 情報を集める

日常生活で出会ったたくさんの言葉を、タブレットで調べたり、タブレットに保存したりすることで、国語の学習に役立てることができます。



■家庭での学習

全学年
語彙力を高める

家で本を読んでいるときやテレビを見ているとき、違う年代の人と話をしているときなど、たくさんの言葉と出会います。気になった言葉や心に残った言葉などをタブレットに記録して、作文やスピーチなどで活用すると、語彙力を高めることができます。

また、意味調べをするときは、インターネットの画像検索を活用し、感想とともに記録しておくイメージをふくらませることができます。

さらに、それらの言葉を「Jamboard（ジャムボード）」というホワイトボードアプリに記録しておけば、他の児童生徒とも共有することができます。

■家庭での学習

学校で発表するスピーチやプレゼンテーションの原稿・資料づくりの作業を家で継続して行います。

スピーチの練習を動画で撮影することで、よりよい発表の仕方を意識することができます。

全学年
原稿づくり・発表練習



2. 学習を発展させる

授業で取り組んだことを、家庭で補足・発展させることができます。

■家庭での学習

読書記録（本の表紙の写真や読み終えた日、一言感想など）を保存しておくことで、いつでも自分の学びを振り返ることができます。



3. 学びを蓄える

学んだことをクラウド等に蓄積していくことで、自分の学びを振り返りながら、理解を深めることができます。

全学年
読書記録

年間の学習課程（前期）

話す・聞く

書く

読む

国語	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	さあ はじめよう	はなの みち	くちばし おおきな かぶ	おむすび ころりん	ききたいな、 ともだちのはなし やくそく	うみの かくれんぼ
2年	ふきのとう きょうの できごと	たんぼぼの ち かんさつ名人に なろう	スイミー こんなもの、 見つけたよ	あつらいいな、 こんなもの	どうぶつ園の じゅうい	お手紙
3年	きつつき もっと知りたい、 ともだちのこと	こまを楽しむ 気持ちをこめて 「来てください」	まいごのかぎ 仕事のくふう、 見つけたよ	詩を味わおう 山小屋で三日間 すごすなら	ちいちゃんの かげおくり	はんで意見を まとめよう
4年	白いぼうし 聞き取りメモの くふう	アップとルーズで 伝える お礼の気持ちを 伝えよう	一つの花	新聞を 作ろう	忘れもの ぼくは川 パンフレットを 読もう	ごんぎつね クラスみんなで 決めるには
5年	かんがえるのって おもしろい なまえ つけてよ	きいて、きいて、 きいてみよう 見立てる	言葉の意味が 分かること 日常を 十七音で	みんなが 過ごしやすい町へ	どちらを 選びますか	新聞を読もう たずねびと
6年	帰り道 聞いて、 考えを深めよう	笑うから楽しい 時計の時間と 心の時間	たのしみは	私たちに できること	いちばん 大事なものは 利用案内を 読もう	やまなし みんなで楽しく 過ごすために
7年 (中学校1年)	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける	シンシュン 情報を整理 して書こう	ダイコンは 大きな根？ ちょっと 立ち止まって	詩の世界 比喩で広がる 言葉の世界	大人になれなかった 弟たちに 星の花が 降るころに	案内文を 書く 聞き上手に なろう
8年 (中学校2年)	見えない だけ アイヌ プラネット	「枕草子」 職業ガイドを 作る	クマゼミ増加の 原因を探る プレゼンテーションを する	短歌に 親しむ 星の王子様	盆土産 字のない 葉書	手紙や電子 メールを書く
9年 (中学校3年)	世界はうつぐいと 握手 評価しながら 聴く	「論語」 情報整理の レッスン	作られた「物語」を 越えて 説得力のある 構成を考えよう	俳句の 可能性 言葉を選ぼう	挨拶 故郷 聞き上手に なろう	慣用句・ ことわざ・ 故事成語

年間の学習課程（後期）

話す・聞く

書く

読む

国語	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	くじらぐも しらせたいな、 見せたいな	じどう車 くらべ じどう車ずかんを つくろう	むかしばなしを よもう てがみで しらせよう	たぬきの 糸車	どうぶつの 赤ちゃん これは、 なんでしょう	ずうっと、ずっと、 大すきだよ いいこといっぱい 一年生
2年	馬のおもちやの 作り方 おもちやの作り方を せつめいしよう	わたしは おねえさん	お話のさくしやに なろう おにごっこ	楽しかったよ、 二年生	スーホの 白い馬	すてきなところを つたえよう
3年	すがたを かえる大豆 食べ物のひみつを 教えます	三年とうげ	たから島の ぼうけん	ありの行列	これがわたしの お気に入り	わたしたちの 学校じまん モチモチの木
4年	クラスみんなで 決めるには 世界に ほこる和紙	伝統工芸のよさを 伝えよう ブラタナスの木	感動を 言葉に 自分だけの 詩集を作ろう	ウナギの なぞを追って	調べて話そう、 生活調査隊	初雪の ふる日
5年	よりよい 学校生活のために	固有種が教えて くれること グラフや表を 用いて書こう	やなせたかし あなたは どう考える	想像力のスイッチを 入れよう	この本、 おすすめします 提案しよう、 言葉とわたしたち	大造じいさんと が
6年	「鳥獣戯画」を 読む 日本文化を 発信しよう	狂言 柿山伏 大切にしたい 言葉	メディアと 人間社会	思い出を 言葉に	今、私は、 ぼくは	海の命
7年 (中学校1年)	「言葉」をもつ鳥、 シジュウカラ	いろは歌 竹取物語 話題や展開を 捉えて話し合おう	「不便」の価値を 見つめ直す 助言を自分の 文章に生かそう	少年の日の 思い出	構成や描写を 工夫して書こう	さくらの はなびら
8年 (中学校2年)	モアイは 語る 意見文を 書く	「平家物語」 「徒然草」 漢詩の風景	君は最後の晩餐を 知っているか 鑑賞文を 書く	走れメロス	構成や展開を 工夫して書く	木 壁新聞
9年 (中学校3年)	人工知能との 未来 多角的に分析 して書こう	和歌の世界 万葉・古今・新古今 奥の細道	誰かの 代わりに 情報を読み取って 文章を書こう	温かい スープ わたしを 束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう	

社会

【目標】

社会で起きていることに興味を持ち、地理・歴史的、現代の政治や経済といった側面から、多面的に深く考え、9年間の発達段階に応じて、よりよい社会の実現のための方策を考えることができる、児童生徒の育成を目指す。

社会のポイント（5つのキーワード）

1. 地理に親しむ…当別町、北海道、日本、世界といったスケールで、地理に関心を持つ。
2. 歴史に親しむ…当別の歴史・日本の歴史・世界の歴史といったスケールで、歴史に関心を持つ。
3. 公民に親しむ…身近な生活から日本・世界での出来事といったスケールで、政治や経済に関心を持つ。
4. 課題を意識する…各単元や授業での課題を常に意識し、その課題解決を追求する力を身につける。
5. 見通す力・振り返る力…各単元及び各授業での学びを見通したり振り返ることで、深い学びにつながる力を身につける。

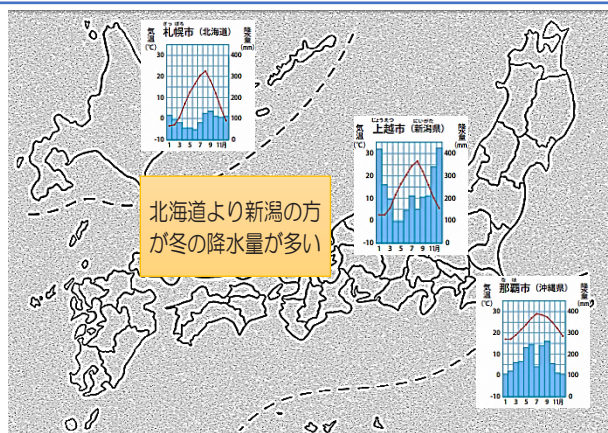
	社会科における身につけたい力
3年	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを表現する力
4年	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを表現する力
5年	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力
6年	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力
7年 (中1)	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係を理解し、情報を効果的に調べまとめる力
8年 (中2)	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的・多面的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力
9年 (中3)	・社会事象について、よりよい社会の実現を視野に、思考・判断したことをまとめたり、それらを基に議論する力

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

社会科におけるICT活用

5年生『国土の気候と地形の特色』

- 「Jamboard（ジャムボード）」を活用し、日本の白地図に各地の雨温図を貼り付けていく。
- 日本の地形の様子と気候について調べ、気がついたことやわかったことをまとめる。
- まとめたものをもとに学校で話し合いを行い、学習を深めていく。

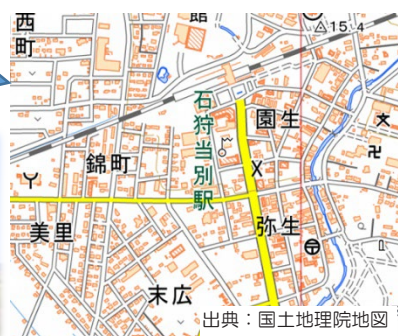


写真と地図を確認

実際に歩いて確認



文化



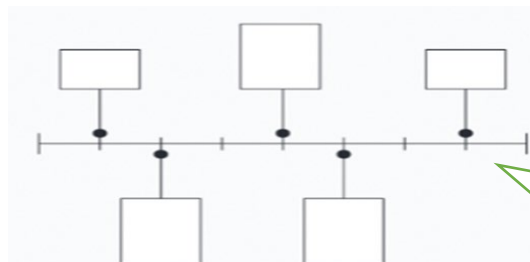
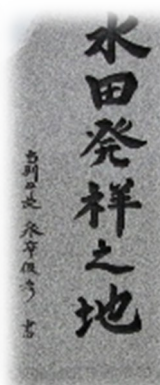
7～9年生（中学校1～3年生） 地理

- 身近な地域の学習で地形図上の地図記号を実際に歩いて確認し、タブレットで撮影してまとめる。
- タブレットで「Google Earth」「ストリートビュー」を活用し、地形、歴史的建造物や遺構などを探し、観察する。ドイツ・ベルギー・オランダの国境を確認し、特徴をまとめる。

Google Earth

7～9年生（中学校1～3年生） 歴史

- 身近な地域の歴史の学習で、地域の寺社や遺構、石碑などを撮影し、それについてインターネット等で調べ、レポートにまとめる。
- 「Jamboard」に書き込み、気づきを整理し、学校で学級の仲間と共有する。



時系列に整理

文化

産業

当別の歴史

テーマごとに整理

人物

日本・世界との関わり

年間の学習課程（前期）

小学校
社会科

地理

歴史

公民

社会	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3年	1. わたしたちのまち 1. 学校のまわりのかんさつ	2. まち全体の様子 1. まち全体の様子	3. 農家のしごと 内容選択 1. お米を育てる農家のしごと 1. 花を育てる農家のしごと			
4年	4. わたしたちの北海道 1. わたしたちの北海道の様子 ★47都道府県の名称と位置	1. 暮らしの中の水 1. 水の使われ方 2. 水道の水が家にとどくまで 3. 下水道とわたしたちの暮らし	2. 自然災害にそなえるまちづくり 1. 自然災害にそなえるまちづくり			
5年	1. 日本の国土とわたしたちの暮らし 1. 日本の国土と世界の国々 2. 国土の気候と地形の特色 3. 自然条件と人々の暮らし	2. 未来を支える食糧生産 1. 米作りのさかんな地域 2. 水産業のさかんな地域 2. 野菜作りのさかんな地域(選択) 3. これからの食糧生産				
6年	1. とともに生きる暮らしと政治 1. 憲法とわたしたちの暮らし 2. 災害からわたしたちを守る政治 2. 雪とともに生きる暮らしを支える政治(選択)	2. 日本の歴史 1. 国づくりへの歩み 2. 大陸に学んだ国づくり 3. 武士の政治が始まる 4. 室町文化と力をつける人々 5. 全国統一への動き 6. 幕府の政治と人々の暮らし				
7年 (中学校1年)	地理的分野 1. 世界のすがた 2. 日本のすがた 3. 世界各地の人々の生活と環境	歴史的分野 歴史のとらえ方 古代までの日本				
8年 (中学校2年)	地理的分野 世界から見た日本の姿	歴史的分野 近世の日本	地理的分野 日本の諸地域			
9年 (中学校3年)	歴史的分野 二度の世界大戦と日本 現代の日本と世界	公民的分野 わたしたちの生活と現代社会 人間の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会				

年間の学習課程（後期）

小学校
社会科

地理

歴史

公民

社会	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	3. 農家のしごと 2. お米のたび 2. お花のたび	4. 安全なくらし 1. 交通事故をふせぐ 2. 火事をふせぐ		5. 買い物とごみのゆくえ 1. 買い物しらべ 2. お店のようす 3. 商店がいのくふう 4. くらしの中のごみ		
4年	3. まちのうつりかわり 1. 昔のくらしをさぐってみよう 2. まちの人たちのくらし 3. きょうどをひらいた人たち			4. わたしたちの北海道 2. 道庁のあるまち 札幌 3. 海、観光のまち 小樽 4. 工業のさかな なまち 苫小牧 5. 空の玄関口 千歳		
5年	3. 未来を作り出す工業製品 1. 自動車の生産にはげむ人々 1. 製鉄にたずさわる人々(選択)	2. 日本の工業生産と貿易・運輸	3. 日本の工業生産の今と未来	4. 未来とつながる情報 1. 情報を伝える人々とわたしたち 1. 新聞社のはたらきとわたしたちのくらし(選択) 2. くらしと産業を变える情報通信技術 2. 健康なくらしを支える情報通信技術(選択)	5. 国土の自然とともに生きる 1. 自然災害とともに生きる 2. 森林とともに生きる 3. 環境とともに生きる	
6年	2. 日本の歴史 7. 新しい文化と学問 8. 明治の新しい国づくり 9. 近代国家を目ざして 10. 戦争と人々の暮らし 11. 平和で豊かな暮らしを目ざして			3. 世界の中の日本 1. 日本とつながりの深い国々 2. 世界の人々とともに生きる		
7年 (中学校1年)	地理的分野 世界の諸地域	歴史的分野 中世の日本		地理的分野 世界から見た日本の姿		
8年 (中学校2年)	地理的分野 日本の諸地域			歴史的分野 開国と近代日本の歩み		
9年 (中学校3年)	公民的分野 現代の民主政治と社会 わたしたちのくらしと経済 地球社会とわたしたち					

算数 数学

【目標】

数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

算数・数学のポイント（数学的活動）

数学的活動とは、事象を数理的にとらえて、算数・数学の問題を見だし、問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行すること。

1. 数量や図形を見だし、進んでかかわる活動
2. 日常の事象や社会の事象から見いだした問題を解決する活動
3. 算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動
4. 数学的な表現ができ、その表現を用いて説明し伝え合う活動
5. 数や図形の性質などを見だし、発展させる活動
6. 日常生活や社会において、数学を利用する活動
7. 数学的な表現を用いて、自分なりに説明し伝え合う活動

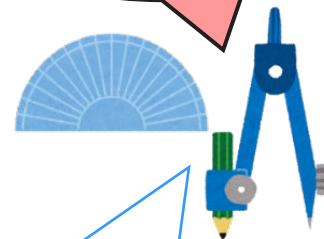
算数・数学における身につけたい力	
1 年	- 数の数え方や計算の仕方考える力 - 形の構成について考える力 - 量の大きさの比べ方を捉える力 - データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える力
2 年	- 数の表し方や計算の仕方などを考察する力 - 図形を構成する要素や性質から考察する力 - 量の単位を用いて的確に表現する力 - データの特徴に着目し、簡潔に表現したり考察したりする力
3 年	
4 年	- 目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力 - 図形の性質や図形の軽量について考察する力 - 二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力 - 表やグラフに的確に表現し、解決の過程や結果を多面的に捉え考察する力
5 年	- 目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力 - 図形の性質や図形の軽量について考察する力 - 二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力 - 表やグラフに的確に表現し、解決の過程や結果を多面的に捉え考察する力
6 年	- 目的に応じて多様な表現方法を用い、数の表し方や計算の仕方などを考察する力 - 図形の性質や図形の軽量について考察する力 - 二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力 - データの特徴や傾向に着目し、解決の過程や結果を批判的に考察する力
7 年 (中1)	- 数の性質や計算、文字を用いて数量関係や法則などを考察する力 - 図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力 - 関数関係を見だし、特徴を表・式・グラフなどで表現する力 - データの分布の傾向を読みとり、批判的に考察して判断する力
8 年 (中2)	- 文字を用いて数量関係や法則などを考察する力 - 数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力 - 関数関係に着目し、表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力 - 複数の集団のデータの傾向を比較して読みとり、批判的に考察して判断する力
9 年 (中3)	- 数の範囲に着目し、数の性質や計算、文字を用いて数量関係や法則などを考察する力 - 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力 - 関数関係に着目し、表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力 - 標本と母集団の関係に着目し、傾向を推定し判断、調査方法や結果を批判的に考察する力

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

算数・数学におけるICT活用

学校で、多様な考えを出し合う話し合いができないとき、タブレットを活用します。個人の考えや解き方など、様々な考え方をもとに問題発見・解決学習を行います。

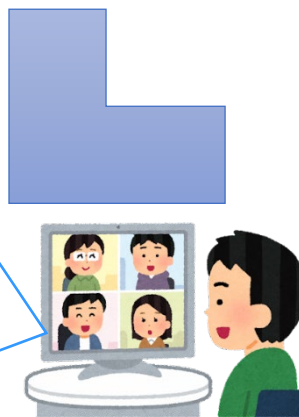
3年生・4年生
コンパス、分度器の
使い方



4年生 面積

■家庭での学習

「面積」の学習でタブレットを活用し、オンライン学習を進めます。図形データを個人に送り、一人ひとりが図形に線などを書き込み、問題を解きます。どのように面積が求められるのか、様々な考えをもとに学習を深めていきます。



■家庭での学習

算数の学習で使用するコンパスや分度器の使い方の映像データを送ります。映像を見て学習し、実際に自分でかくことで理解を深めます。

授業だけでは、定着しにくい学習を家庭で反復したり、課題を自力解決したりすることで、学力を向上させて、次の授業につなげていきます。

■家庭での学習

教科書に掲載された二次元バーコードやURLで専用ページにアクセスするだけで、各学年の無料の動画や練習問題を見て学習することができます。

ほかにも、無料で掲載されている数学の問題などを検索し、取り組むこともできます。



学習に役立つ情報を
ウェブサイトで見ることが
できます



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/sugaku/2.html>

(教育出版Webサイト まなびリンク)

家庭での学習に…

ほっかいどう
チャレンジテスト
おすすめします！



■家庭での学習（学びなおし）

北海道教育委員会が掲載している、チャレンジテストを活用することができます。小学1年生から中学3年生までの過去のチャレンジテストがあります。小学生に戻って学習してみてもいいかもしれません。基本問題が中心のページや単元別になっているページもあります。解答もついているので、確認しながら学習することができます。

年間の学習課程（前期）

算数 数学	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	1. なかまづくりとかず	2. なんばんめ	3. あわせていくつふえるといくつ	4. のこりはいくつちがいはいくつ	6. わかりやすくせいりしよう	7. 10よりおおいかず 8. なんじなんじはん 9. 3つのかずのけいさん 10. どちらがおおい
2年	1. グラフとひょう	3. ひき算のひっ算	5. 3けたの数	7. 時こくと時間	9. たし算とひき算のひっ算	10. 長方形と正方形
3年	1. かけ算	3. わり算	5. 長いものの長さのはかり方と表し方をはかって表そう	8. 大きい数のしくみ	9. かけ算のひっ算(1)	10. 大きい数のわり算、分数とわり算
4年	1. 大きい数のしくみ	3. わり算のひっ算(1)	5. 小数のしくみ	6. わり算の筆算	7. がい数の使い方と表し方	
5年	1. 整数と小数	3. 比例	5. 小数のわり算	7. 図形の角	8. 偶数と奇数、倍数と約数	9. 分数と小数、整数の関係
6年	1. 対称な図形	2. 文字と式	4. 分数のわり算	5. 比	6. 拡大図と縮図	7. 円の面積
7年 (中学校1年)	1章 整数の性質	2章 正の数、負の数	3章 文字と式	4章 方程式	5章 比例と反比例	
8年 (中学校2年)	1章 式の計算	2章 連立方程式	3章 1次関数	4章 平行と合同		
9年 (中学校3年)	1章 式の計算	2章 平方根	3章 2次方程式	4章 関数 $y = ax^2$		

年間の学習課程（後期）

算数 数学	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	11. たしざん	12. かたち あそび 13. ひきざん	14. おおきいかず	15. どちら がひろい	16. なんじ なんぷん	17. たしざ んとひ きざん 18. かたち づくり
2年	11. かけ算 (1)	12. かけ算 (2)	13. 4けたの数	14. 長いも のの長 さのた んい	15. たし 算と ひき算	16. 分数 17. はこ の形
3年	12. 小数	13. 重さのた んいとは かり方	14. 分数	15. 口を 使った式	16. かけ算 の筆算 (2)	17. 三角形と角 18. ぼうグ ラフと表
4年	8. 計算の きまり	9. 垂直、平行 と四角形	10. 分数	11. 変わ り方 調べ	12. 面積の はかり 方と表 し方	13. 小数のかけ算と わり算 14. 直方体と 立方体
5年	11. 平均	12. 単位量 あたりの 大きさ	13. 四角形 と三角 形の面積	14. 割合	15. 帯グラフ と円グラフ	16. 変わ り方 調べ 17. 正多角形と 円周の長さ 18. 角柱と 円柱
6年	8. 角柱と 円柱の 体積	9. およそ の面積 と体積	10. 比例 と反 比例	11. 並べ方 と組み 合わせ方	12. データ の調べ 方	13. 算数のしあげ
7年 (中学校1年)	5章 比例と反比例	6章 平面図形	7章 空間図形	8章 データの活用	1年生の まとめ	
8年 (中学校2年)	4章 平行と合同	5章 三角形と四角形	6章 確率	7章 データの 分析	1年生の まとめ	
9年 (中学校3年)	5章 相似な図形	6章 円	7章 三平方の 定理	8章 標本 調査	3年間のまとめ	

理科

【目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

理科のポイント（7つのキーワード）

1. 自然に親しむ……自然に触れ、慣れ親しむことで興味・関心をもち、問題を見出し追及する。
2. 理科の見方・考え方……自然界で起こる現象や物事を理科としてとらえ、比較したり、関係づけたりして、多面的に考える。
3. 見通しをもつ……根拠をもって予想したり、仮説を考えたりして、問題の解決の方法を発想する。
4. 観察と実験……目的意識や問題意識をもって行い、結果から考察したり、結論を導き出すこと。
5. 自然の事物・事象……「物質・エネルギー」と「生命・地球」のこと。
6. 問題を科学的に解決……実験や観察を通して導き出した結論を他者と検証し、学びあい、新たな問題を見出す。
7. 資質能力を育成……自然の事物・現象の理解および観察、実験における基本的な技能の習得と、問題解決の力。

	理科における身につけたい力
3年	・ 差異点や共通点をもとに、問題を見出す力
4年	・ 既習の内容や、生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力
5年	・ 予想や仮説などをもとに、解決の方法を発想する力
6年	・ 仕組みや性質、規則性およびはたらきについて、より妥当な考えを作り出し表現する力
7年 (中1)	・ 問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関連性・共通点や相違点、分類するための観点や基準を見出して表現する力
8年 (中2)	・ 見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見出して表現する力
9年 (中3)	・ 見通しをもって観察、実験などを行い、探求の過程から総合的に振り返り、特徴や規則性、関係性を見出して表現する力

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

理科におけるICT活用

学校で、観察や実験が行えない単元で、話し合いや考えをまとめるための情報を得ることができないとき、タブレットで様々なサイトにアクセスし、必要な情報を集めて、その情報をもとに課題発見・解決を授業で行います。

◆家庭での学習

「星の観察」を家庭の学習で行います。星の明るさや色合いなどを実際の目で確認し、気づいたことをまとめて、レポートをクラウドに送信します。

4年 月の位置の変化

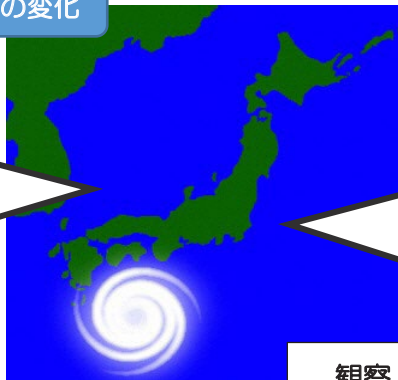
9年 宇宙の広がり

1.情報を集める

5年 天気の変化

◆家庭での学習

台風の動きや台風が近づいた時の各地の天気を調べ、気づいたことをまとめて、レポートをクラウドに送信します。



8年 天気とその変化

◆家庭での学習

継続観測を行ったときの気象データと比較したり、過去の気象観測データを調べたりして、天気と気象要素とのかかわりについてまとめて、レポートをクラウドに送信します。

観察、実験の様子を撮影してクラウドに保存します。それをもとに振り返ったりしながら、考察・まとめをして問題解決を行います。

6年 水溶液

◆家庭での学習

学校で行った実験の動画などを見て、家庭で自分なりに考察し、まとめてレポートをクラウドに送信します。学校でそれをもとに話し合い、学習を進めたりもします。

2.情報を保存する



7年 水溶液の性質

◆家庭での学習

今までの学習したことを、家庭学習の復習として活用します。小学校学んだことを振り返り、中学校の学習で活かすことができます。

クラウドに蓄積されたものを使って、学んだことを振り返り、理解を深めていきます。

3.学びを蓄える



年間の学習課程（前期）

生物・地学分野

物理・化学分野

理科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3年	1. 風やゴムの力	2. 植物を育てよう	3. チョウを育てよう	4. こん虫の世界	5. 太陽と地面	
4年	1. 体のつくりと運動	2. 季節と生き物	3. 天気による気温の変化	4. 電流のはたらき		5. 雨水と地面
5年	1. 植物の発芽や成長①	2. メダカのたんじょう	1. 植物の発芽や成長②	3. 天気の変化	4. 花から実へ	5. 流れる水と土地
6年	1. ものの燃え方と空気	2. 人や他の動物の体	3. 植物の体	4. 生き物と食べ物・空気・水		5. てこ
7年 (中学校1年)	1. 生物の観察と分類のしかた	2. 植物の分類	3. 動物の分類	4. 身のまわりの物質とその性質	5. 気体の性質	6. 水溶液の性質
8年 (中学校2年)	1. 物質の成り立ち	2. 化学変化	3. 化学変化とその利用	4. 生物と細胞	5. 植物のからだのつくりとはたらき	6. 動物のからだのつくりとはたらき
9年 (中学校3年)	1. 水溶液とイオン	2. 酸、アルカリとイオン	3. 化学変化と電池	4. 生物の成長と生殖	5. 遺伝の規則性と遺伝子	6. 生物の多様性と進化 7. 物体の運動

年間の学習課程（後期）

生物・地学分野

物理・化学分野

理科	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	5. 太陽と地面	6. 光	7. 音	8. ものの重さ	9. 電気の通り道	11. じしゃく
4年	6. 月の位置の変化	7. とじこめた空気や水	8. ものの温度と体積	10. もののあたたまり方	11. 水のすがた	12. 水のゆくえ
5年	6. ふりこ	7. 電流が生み出す力	8. 人のたんじょう		9. もののとけ方	
6年	6. 土地のつくり	7. 月の見え方と太陽	8. 水溶液	9. 電気の利用		
7年 (中学校1年)	7. 物質の姿と状態変化	8. 光の世界	9. 音の世界	10. 力の世界	11. 火をふく大地(火山)	12. 動き続ける大地(地震) 13. 地層から読み取る大地の変化
8年 (中学校2年)	7. 刺激と反応	8. 気象の観測	9. 雲のでき方と前線	10. 大気の動きと日本の天気	11. 静電気の性質	12. 電流の性質 13. 電流と磁界
9年 (中学校3年)	8. 力のはたらき方	9. エネルギーと仕事	10. 地球の動きと天体の動き	11. 月と金星の見え方	12. 宇宙の広がり	13. 自然環境の中の生物 14. 自然環境の調査と保全 15. 科学技術と人間 16. 持続可能な社会をつくるために

生活科

【目標】

具体的な活動や体験を通して、生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指す。

生活科のポイント（9つの内容）

生活科は以下の9つの内容で構成されています。

- ・【学校と生活】・【家庭と生活】・【地域と生活】・【公共物や公共施設の利用】
- ・【季節の変化と生活】・【自然や物を使った遊び】・【動植物の飼育・栽培】
- ・【生活や出来事の交流】・【自分の成長】

9つの内容は、地域や児童の実態に応じた弾力的な指導や、多様な活動・体験ができるようになっています。そのため単元の計画は、学校に応じて異なります。

生活科における身につけたい力

【学校と生活】

- ・学校施設の様子や、先生など学校生活を支えている人々と、友だちのことがわかり、楽しく安心して学校生活をおくることができる。
- ・通学路や、その安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができる。

【家庭と生活】

- ・家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割をしっかりと果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活する。

【地域と生活】

- ・自分たちの生活が、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることがわかり、親しみや愛着をもって人々と接することができる。

【公共物や公共施設の利用】

- ・身のまわりにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かることで、公共物や公共施設を大切に、安全に気を付けて正しく利用することができる。

【季節の変化と生活】

- ・身近な自然を観察したり季節や地域の行事にかかわる行動を行ったりすることで、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しんだりすることができる。

【自然や物を使った遊び】

- ・身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることで、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで楽しむことができる。

【動植物の飼育・栽培】

- ・動物や植物を育てる体験を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、生命を持っていることや成長していることに気づき、親しみをもって大切にすることができる。

【生活や出来事の交流】

- ・自分たちの生活や地域の出来事を、身近な人々と伝えあったり、関わったりすることで楽しさがわかり、進んで交流することができる。

【自分の成長】

- ・多くの人々の支えにより、自分が大きくなったことや自分でできるようになったこと、役割が増えたことを知ることで、支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長の願いをもって意欲的に生活することができる。

1 年

2 年

3 年

社会科や理科、総合的な学習の時間をはじめとする中学年の各教科等への接続

→ 社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

生活科における I C T 活用

生活科は、対象と直接関わる体験活動と表現活動とが連続的・発展的に繰り返され、積み重なって学んでいくという特質があります。このうち、表現活動について、児童が言葉や絵、動作、劇化などのさまざまな方法で表現を楽しむことができるようにするとともに、記録したり、表現したりする方法として、I C Tを活用することができます。

■家庭での学習

夏休みに行う「あさがおの観察」を写真として記録にとり、感想や気が付いたことをタブレットに記録。そのデータを保存し、クラウドに送信します。



2年
まちたんけん



1.情報を
集める

2.情報を
保存する

1年
あさがおの観察

■家庭での学習

町探検で気になった場所の写真をとったり、地域の方へのインタビューなどの映像を撮影したり、気が付いたことをタブレットに記録し、データを保存。取材した内容を使って事後の学習に生かします。

写真や映像に記録し、自分の活動を客観的に振り返ることで、そのときには感じなかったことを考えたり、自分自身の活動の良さに気が付いたりすることができます。

3.学びを
振り返る

4.情報を
発信する



■家庭での学習

児童は、教師の支援を受けながら相手に自分の気持ちが伝わるように、表情や話し方などの仕草を工夫して、ビデオメッセージをつくります。作成したビデオメッセージは、クラウドにあげることで、ご家庭でも見るすることができます。見た感想を保護者の皆様からフォームで送信します。

年 間 の 学 習 課 程 （ 前 期 ）

生活科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1 年	あ、あれ、 わくわくが いっぱい きょうから 1年生	わくわく どきどき しょうがっこう	きれいにさいてね わたしのはな（アサガオ等の栽培）			
		きせつとなかよし はる なつ			なかよくなろうね 小さなともだち	
					学びのポケット	
2 年	わくわく 2年生	めざせ 野さい作り 名人				
		まちが大すき たんけんたい	めざせ生きものはかせ			
						えがおの ひみつ たんけん たい

年間の学習課程（後期）

生活科	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	きせつとなかよし あき		かぞくにこにこ 大さくせん	きせつとなかよし ふゆ	もうすぐ2年生	
2年	えがおのひみつ たんけんたい		作ってためして		あしたへつなぐ 自分たんけん	学びのポケット

音楽

【目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

音楽のポイント（つながりを意識して）

小学校で「幅広い音楽活動」を体験した子供たちが、中学校において「幅広い教材内容の音楽活動」を行っていく。
小学校で「音楽に対する感性」を育て、中学校において「音楽に対する感性」を豊かにする。

「音楽に対する感性」… 小学校～音楽的刺激に対する反応

中学校～音楽の豊かさや美しさを感じ取らせる経験を通して、音や音楽を知覚すること

「音楽活動の基礎的な能力」… 小学校～表現や鑑賞の活動に必要な音楽的な諸能力

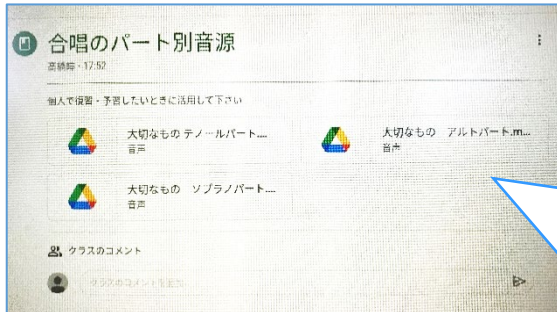
中学校～生涯にわたって楽しく充実した音楽活動ができるための基になる能力

音楽科における身につけたい力	
1年	・曲想と音楽の関わりに気づき、音楽表現を楽しむために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につける。 ・音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴くことができる。
2年	・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養う。
3年	・曲想と音楽の構造などとの関わりに気づき、表したい音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につける。 ・音楽表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴くことができる。
4年	・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
5年	・曲想と音楽の構造などとの関わりを理解し、表したい音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につける。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴くことができる。
6年	・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
7年 (中1)	・曲想と音楽の構造などの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につける。 ・音楽表現を創意工夫することや、評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽により生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
8年 (中2)	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につける。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、評価しながらよさや美しさを味わいながら聴く。
9年 (中3)	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽により生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

音楽におけるICT活用

歌唱



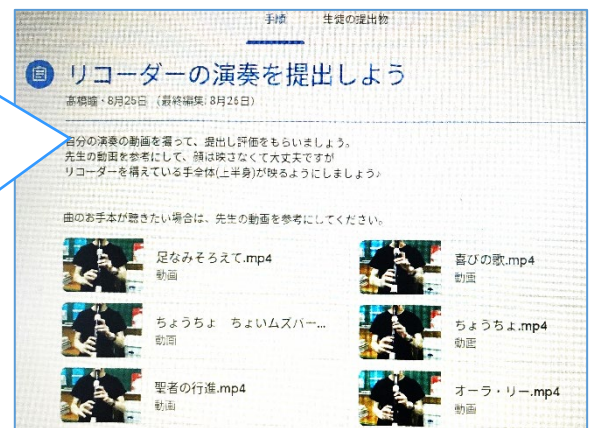
■家庭での予習・復習

タブレットのそれぞれのクラスルームにて、合唱や歌唱のパート別音源を確認できます。授業中の音とりで不十分だった所や、次回行う所を自分のペースでじっくり聴くことができます。

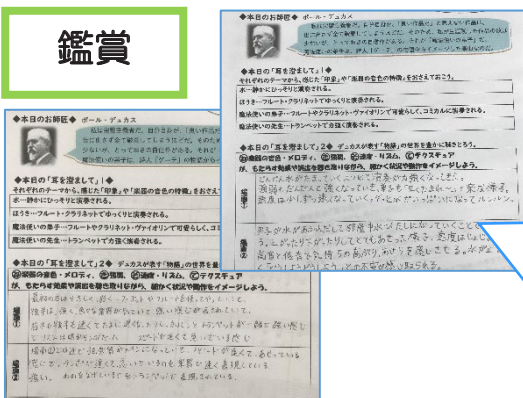
器楽

■評価のより良い形・個別活動の充実

リコーダーなど器楽の個別演奏では、模範演奏をタブレットで確認したり、自分の演奏を動画で撮影し教師に提出したりすることができます。児童生徒は実技テストのとき、動画を提出するか、直接教師に聴いてもらうか選び、ベストな演奏かつ多くの演奏を評価してもらうチャンスを広げることができます。



鑑賞



■短時間で交流を深める

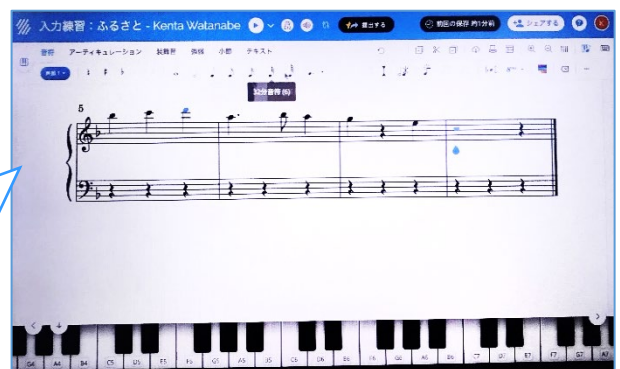
限られた授業時間の中で、多くの意見を交流し合うために、記述したワークシートをクロームブックで撮影し、クラスルーム内にアップロードします。

教師のタブレットと投影機をつなぐなどして、短時間で多くの生徒のワークシートを全体交流することができます。

創作

■創作活動に親しむ

音符や音名などを完璧に理解することが難しくても、旋律やリズムが容易に創作できるオンライン作曲システムを活用することができます。



©Flat for education

年間の学習課程（前期）

音楽	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	・おんがくランド ・リズムとなかよし			・おとのスケッチ ・にっぽんのうた みんなのうた ・どれみとなかよし		・こんにちは けんぱんハーモニカ ・もりあがりを かんじて
2年	・音楽ランド	・強さやはやさをかんじて ・リズムやドレミとなかよし			・めざせ楽器名人 ・曲に合った歌い方 ・にっぽんのうた みんなのうた	
3年	・音楽ランド	・にっぽんのうた みんなのうた ・楽ふとドレミ ・こんにちはリコーダー		・歌声をひびかせて ・めざせ楽き名人 ・にっぽんのうた みんなのうた ・せんりつのながれとへん化		
4年	・にっぽんのうた みんなのうた ・歌声ひびかせて		・ひょうしとせんりつ ・にっぽんのうた みんなのうた		・曲に合った歌い方 ・めざせ楽器名人 ・日本の楽器を訪ねて	
5年	・にっぽんのうた みんなのうた ・和音や低音のはたらき ・声のひびき合い			・めざせ楽器名人 ・オーケストラの魅力 ・にっぽんのうた みんなのうた ・変そう曲を楽しもう		
6年	・にっぽんのうた みんなのうた ・短調のひびき ・演奏のみりよく ・めざせ楽器名人			・音のスケッチ ・にっぽんのうた みんなのうた		・ひびき合い を生かして
7年 (中学校1年)	歌唱：青空へのぼろう、校歌 器楽：喜びの歌、リズム de ゴー オーラ・リー メリーさんの羊			歌唱：合唱(学校祭) 夏の思い出 鑑賞：「春」第1楽章 「夏」第1楽章		歌唱：合唱(学校祭) 鑑賞：魔王(シューベルト)
8年 (中学校2年)	歌唱：生命が羽ばたくとき 器楽：サムのひとりごと レヴェル・ブレイン			歌唱：合唱(学校祭) 浜辺の歌 鑑賞：ボレロ 惑星		歌唱：合唱(学校祭) 創作：リズムパターンをつく ろう(4分音符と8分 音符を組み合わせて)
9年 (中学校3年)	歌唱：花、帰れソレントへ 器楽：威風堂々 きらきら星			歌唱：合唱(学校祭) 鑑賞：プルトバ フィンランディア		歌唱：合唱(学校祭) 創作：言葉のリズムや重なり 方を活用する旋律づくり

年間の学習課程（後期）

音楽	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年	・ いいおとみつけて ・ おんがくランド ・ おとのスケッチ		・ きょくのながれ ・ にっぽんのうた みんなのうた ・ うたでまねっこ ・ みんなであわせて		・ おとのスケッチ ・ にっぽんのうた みんなのうた	
2 年	・ いい音 みつけて	・ おまつりの音楽 ・ 曲のながれ		・ くりかえしと かさなり	・ みんなで合わせて	
3 年	・ 遊び歌めぐり ・ にっぽんのうた みんなのうた ・ 曲に合った歌い方		・ アンサンブルの楽しさ ・ めざせ楽き名人 ・ ききどころを見つけて ・ みんなで合わせて			・ 物語の音楽 を楽しもう
4 年	・ 日本のお祭りを訪ねて ・ かけ合いと重なり ・ にっぽんのうた みんなのうた ・ いろいろな歌声を楽しもう			・ アンサンブルの楽しさ ・ ききどころを見つけて ・ にっぽんのうた みんなのうた ・ わたしたちの表げん		
5 年	・ 音楽の旅 ・ しの笛のみりよく ・ 豊かな表現を求めて		・ にっぽんのうた みんなのうた ・ ききどころを見つけて ・ わたしたちの表現		・ 音のスケッチ	
6 年	・ ききどころを見つけて ・ 豊かな表現を求めて ・ ジャズとクラシック音楽の出会い ・ 私たちの国の音楽			・ 音楽に思いをこめて ・ 音のスケッチ ・ 音楽ランド		
7 年 (中学校 1 年)	器楽：うみ、アメージング・グレイス 鑑賞：箏曲や尺八曲の多様な表現 日本とアジアの声による さまざまな表現		器楽：リコーダーアンサンブル 箏（さくらさくら）		鑑賞：日本とアジアの声による さまざまな表現 歌唱：卒業式合唱 （旅立ちの日に）	
8 年 (中学校 2 年)	鑑賞：交響曲第 5 番ハ短調 小フーガト短調 器楽：カノン 2 優しき流れ		器楽：リコーダーアンサンブル 箏（荒城の月）		鑑賞：雅楽「越天楽」 歌唱：卒業式合唱 （旅立ちの日に）	
9 年 (中学校 3 年)	鑑賞：オペラ（アイーダ） 白鳥の湖（バレエ） 器楽：リコーダーアンサンブル		器楽：リコーダーアンサンブル 鑑賞：歌舞伎		歌唱：曲想を味わいながら 合わせて歌おう ①卒業式合唱（旅立ちの日に） ②卒業生合唱	

【目標】

表現や鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

図工・美術のポイント（3つのキーワード）

1. 表現や鑑賞の活動・・・造形的なよさや美しさ、表したいこと表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりする。
2. 造形的な見方・考え方・・・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
3. 豊かに関わる資質・能力・・・つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

図工美術における身につけたい力

1年

- ・造形的な視点について、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。

2年

- ・造形的な面白さや楽しさ、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の周りの作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。

3年

- ・造形的な視点について、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。

4年

- ・造形的な面白さや楽しさ、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の周りの作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

5年

- ・造形的な視点について理解し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。

6年

- ・造形的な面白さや楽しさ、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の周りの作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色などにかかわり、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。

7年
(中1)

- ・造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- ・造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどを考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりする力を養う。
- ・創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

8年
(中2)

- ・造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を追及し、創造的に表すことができる。
- ・造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。

9年
(中3)

- ・主体的に創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

図工・美術におけるICT活用

油粘土の作品は、今まで、その場で写真に撮り、すぐに壊して片づけていました。タブレットがあることで自分の作品を撮影し、作品を記録として残していくことができるようになります。また、学校に展示していた作品を、来校せずに家庭で見てもらえるようになります。



2年
おもいでをかたちに



小学校
(前期課程)

■家庭での学習

ぜひ、お子さんの作品をご覧ください。具体的に良さを伝え、ほめてあげることで、次の制作への意欲につながります。

7年(中学校1年)
なぜか気になる
情景

中学校
(後期課程)



写真を撮影する様子

作品のアイデアを考えたり、資料を必要とする制作を行ったりする際に、写真を撮影したり、インターネットで情報収集を行ったりします。

■家庭での学習

小学校で学んだことを振り返って中学校でも活用するなど、自分の学習内容を復習することができます。



クラスルームでの意見交流、調べたことや気づいたことをスライドにまとめて発表するなど、ICTの活用で学びが深まります。

学んだことを蓄積していつでも見返すことができるよう、日々の気づきを記録します。

年間の学習課程（前期）

図画工作分野

鑑賞分野

図工美術	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	1. すきな 形や 色なあに 2. かきたいものなあに	3. ちよきちよき かざり 4. 砂や土と なかよし	5. ひもひも粘土 6. 見て見てあのね 7. おって立てたら	8. ベったん コロコロ 9. ごちそうパーティー はじめよう	10. ひらひら ゆれて	11. 色々な形の紙から 12. カラフル色水 13. お話から生まれたよ
2年	1. 楽しい 形や 色の世界 2. お花見 スケッチ	3. 光の プレゼント 4. にぎに ぎ粘土	5. わつから へんしん 6. ふしぎな たまご	7. 新聞紙と なかよし	8. まどからこん にちは 9. 楽しかったよ ドキドキしたよ	10. 色の見え方むげんだい 11. 音づくり フレンズ
3年	1. しぜんの色 2. 絵のぐ+水 +ふで=いい感じ	3. くるく るランド	4. 切って書き出 しくっつけて 5. わたしの6 月の絵	6. ふき上が る風にのせて 7. み近な自然の形・色	8. ベタパタ ひらく	9. 小さな自分のお気に入り 10. くぎうち トントン
4年	1. しぜんの形 2. 絵のぐでゆ めみよう	3. コロコロガーレ 4. 立ち上がれ粘土 5. まぼろしの花	6. ギコギコ トントン クリエイター	7. 色合いひびき 合い 8. つなぐんぐん	9. わずれられ ない気持ち	10. おもしろ だんボールボックス
5年	1. 身近なものを見つめて 2. あんなところがこんな ところに見えてきた	3. のぞい てみると 4. 心のも よう	5. カードを 使って	6. 形が動く 絵が動く	7. 糸のコス イスイ	8. 使って楽しい焼き物
6年	1. 想像する力 2. おもしろ筆	3. 墨と水から 広がる世界 4. ここから 見ると	5. 光の形	6. くるくるクランク	7. 音のする絵	
7年 (中学校1年)	1. 美術との出会い 2. モダン テクニック	3. 文字っておもしろい	4. なぜか気になる風景	5. 見つめると見えてくるもの	6. 美のタイムトラベル	
8年 (中学校2年)	1. 学びの実感と 広がり 2. ひと目で伝えるための工夫	3. 手から手へ 受け継ぐ	4. つくって使って味わう工芸	5. 水と筆を操る てん刻・落款印	6. 浮世絵は すごい	
9年 (中学校3年)	1. 学びの探求 と未来 2. あの日を 忘れない	3. ジジジチカピカ ポッ ポッ パ	4. 私の色 みんなの色	5. 動きを生かして印象的に	6. 仏像に宿る心	

年間の学習課程（後期）

図画工作分野

鑑賞分野

図工美術	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	14. かざって なに入れよう 15. でこぼこ発見！	16. 箱で作ったよ 17. 乗ってみたい いな行きたいな	18. ならべて ならべて 19. 紙皿 コロ コロ	20. すきま ちやんの すきな すきま	21. いっしょに おさんぽ 22. によきにょき とびだせ	23. うつした 形から
2年	12. つないで つるして 13. はさみの アート	14. 思い出を形に 15. ことばの 形 16. わくわくお 話ゲーム	17. だんボールに 入ってみると!?	18. パタパタ ストロー	19. ともだち ハウス 21. 友だち 見つけた！	20. 楽しく うつして
3年	11. 空きようきの へんしん 12. クミクミッ クス	13. ことばから 形・色	14. ゴムゴム パワー	15. 粘土マイ タウン 16. 土でかく	17. マグネット トマジック 18. ひもひも ワールド	19. いろいろ うつして
4年	11. ひみつの すみか	12. 光とかけから 生まれる形 13. カードでつた える気持ち	14. まどを のぞいて	15. ようこそ！ ゆめのまちへ	16. ゴー！ゴー！ ドリームカー 17. ポーズのひみつ	18. ほってすっ て見つけて
5年	9. 立ち上がり！ ワイヤーアート 10. 消してかく	11. 光と場所の ハーモニー 12. 言葉から思い を広げて	13. わたしの いい形	14. ほり進めて刷り重ねて	15. 伝え合いたい思い	
6年	8. 自然を感じるすてき な場所で 9. わたしの大切な風景	10. 1まいの板から	11. わたしの感じる和 12. ドリーム・ プロジェクト	13. 未来のわたし		
7年 (中学校1年)	7. 切って、折って、 巻いて	8. 広がる模様の世界	9. 刷って出会う楽しさ	10. 屏風、美のしかけ 11. 墨と水の出会		
8年 (中学校2年)	7. 視点の冒険	8. デザインで 人生を豊かに 9. 暮らしやすさのデザイン	10. なんてこれ が美術なの？			
9年 (中学校3年)	7. 今を生きる私へ	8. さまざまなアートに触れよう	10. 社会に生き る美術の力			

保健 体育

【目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

保健体育のポイント（資質・能力育成に向けて）

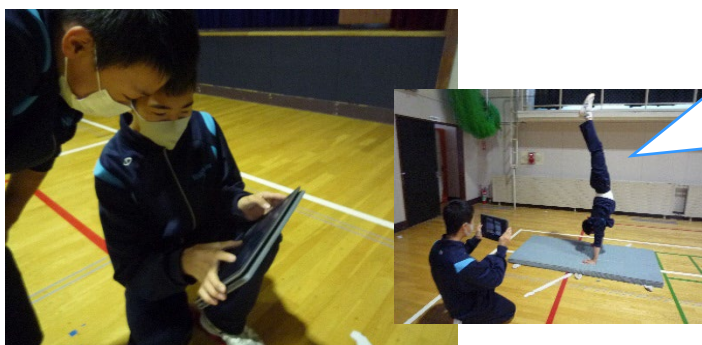
1. 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
2. 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
3. 生涯にわたり運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

保健体育における身につけたい力	
1 年	・運動遊びの楽しさに触れ、基本的な動きを身につける。 ・運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他の人に伝える力を養う。
2 年	・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、意欲的に運動したりする態度を養う。
3 年	・運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方や健康で安全な生活や体の発育・発達について理解し健康で安全な生活や体の発育・発達について理解し、基本的な動きや技能を身につける。
4 年	・運動や身近な生活における健康の課題を見つけ、解決方法や活動を工夫し、考えたことを他の人に伝える力をつける。 ・運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動し、友だちの考えを認め、安全に留意し、最後まで粘り強く運動に取り組むことができる。また、自分の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
5 年	・運動の楽しさや喜びを味わい、行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解し、運動の特性に応じた技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身につける。
6 年	・自分やグループの運動の課題や健康にかかわる課題を見つけ、その解決方法や活動を工夫し、自分や仲間の考えを他の人に伝える力をつける。 ・運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動する。また、健康・安全の大切さに気付き自分の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を身につける。
7 年 (中1)	・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践するため、運動・体力の必要性について理解し、基本的な技能を身につける。 ・運動について自分の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自分や仲間の考えを他者に伝える力を養う。
8 年 (中2)	・運動の中の競争や協働の経験を通し、公正に取り組む、協力する、自分の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育て、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動する態度を養う。
9 年 (中3)	・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたり運動を豊かに実践するため、運動・体力の必要性について理解し、基本的な技能を身につける。 ・運動について自分の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自分や仲間の考えを他者に伝える力を養う。 ・運動の中の競争や協働の経験を通し、公正に取り組む、協力する、自分の役割を果たす、参画する一人一人の違いを大切にすることなどの意欲を育て、健康・安全を確保し、生涯にわたり運動に親しむ態度を養う。
※3年時より、年間通して保健の学習も行われます。保健では、主に次の内容を学習します。 ・身体 の 健康 ・生活 習 慣 と 健康 ・心身の発達 ・けがの原因と手当 ・感染症の予防 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

体育におけるICT活用

学校での各競技中の自分の姿や仲間の姿を見ることでポイントの確認や欠点の発見に役立ってます。また、各競技のプロの姿を動画で見たり、上手になるためのポイントを検索したりすることで、スポーツ全般への興味を持つきっかけとします。



■学校での学習

実技の授業では、自分のフォームなどを撮影し、フィードバックすることで、欠点に気づき改善することができます。また、仲間同士での教え合いも活発にできる効果があります。

■家庭での学習

動画を見て体の動かし方を学び、授業で実践してみる。仲間に教えたり、教わったりすることで、競技の内容を深めたりします。また、授業で撮った動画とプロの競技者の動画を見比べることで、ポイントの確認、さらなる技量の向上に役立ってます。



■家庭での学習

オリンピックやパラリンピックの歴史や経緯を調べて、スポーツのことを理解したり、体の仕組み等、保健の教科書に連動している動画を見たりして予習・復習に生かし、テストへ向けた学習に役立ってます。

過去の自分の姿と、練習を重ねた自分の姿を見比べることによって、自分の技術向上を目の当たりにし、しっかり実感できるようにします。

年間の学習課程（前期）

保健 体育	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	1. 体づくり運動（遊び） ・走る、飛ぶなどの運動 ・体を移動させること ・運動することの慣れ、体のバランスをとる運動遊び等	2. 運動会に向けた取り組みを通して仲間づくりを学ぶ。 ・かけっこ ・リレー遊び ・リレー ・かけ足 ・小型ハードル走 ・表現リズム遊び ・リズムダンス	3. ゲーム ・鬼遊び ・ボール遊び ・的あてゲーム ・ゴール型ゲーム ・ベースボール型ゲーム	4. 水泳運動（水遊び） ・水の中を移動する運動遊び ・水に慣れる遊び ・潜る、浮く運動 5. 走・跳の運動（運動遊び） ・幅跳び遊び ・ゴム跳び遊び ・ハードル遊び ・跳躍遊び ・幅跳び ・高跳び		
2年						
3年						
4年						
5年	1. 体づくり運動 ・運動を通して手や体の動かし方、他者とのかわりを学ぶ。	2. 運動会、陸上競技・体育祭へ向けての取り組みを通して仲間づくりを学ぶ。	3. ボール運動（ゴール型） ・バスケットボールの基本動作の習得（パス、ドリブル、シュート）、簡易ルールของเกม ・サッカーの基本動作の習得（パス、ドリブル、シュート）簡易ルールของเกม		4. 水泳運動 ・クロール ・平泳ぎ ・安全確保につながる運動	
6年						
7年 （中学校1年）			3. 球技（ゴール型） ・バスケットボールの基本動作の定着（パス、ドリブル、シュート） 3対3のフルコートゲーム等 ・サッカーの基本動作の定着（パス、ドリブル、シュート） 4対4のラインゲーム等		4. 球技（ベースボール型） ・ソフトボールの基本動作の習得（投球、捕球、バッティング） ・ピッチャーを立てての簡易ゲーム	
8年 （中学校2年）						
9年 （中学校3年）			3. 球技（ゴール型） ・バスケットボールの発展（スクリーンプレイ・ポストプレイ）5対5の正規ゲーム等 ・サッカーの発展（サイド攻撃、セットプレイ）、フルコートゲーム等		4. 球技（ベースボール型） ・ソフトボールの発展・ダブルプレー等の習得 ・総復習ゲーム	

年間の学習課程（後期）

保健 体育	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年	6. 体づくり運動（遊び） ・ 用具を操作する運動遊び ・ 長なわとび、短なわとび ・ 竹馬遊び ・ 多様な動きを作る運動 7. ゲーム ・ 的あてゲーム ・ シュートゲーム ・ ボールけりゲーム ・ ゴール型ゲーム ・ ベースボール型ゲーム ・ ネット型ゲーム		8. 器械運動（器具を使つての運動遊び） ・ 固定施設を使った運動遊び ・ 平均台遊び ・ 跳び箱遊び ・ 鉄棒運動 ・ マット運動	9. スキー ・ スキーの脱着 ・ スキーを履いての歩行 ・ 築山での滑走 ・ ゲレンデでの滑走	10. 表現運動（表現リズム遊び） ・ 表現遊び ・ 表現 11. ゲーム ・ ボールゲーム ・ ドッジボール ・ ネット型ゲーム	
2 年						
3 年						
4 年						
5 年	5. ボール運動（ネット型） ・ ソフトバレーボールの基本動作の習得（パス、サーブ） ・ 簡易ゲームを楽しむ		6. 器械運動 <マット> ・ 基本となる技の習得（前転・後転、開脚前転、開脚後転） ・ 発展技の習得（伸膝前転・倒立前転・飛び前転・伸膝後転等）	7. スキー ・ 基本的な滑り方を身に付ける（プルークボーゲン）	8. 表現活動 ダンス ・ 一定のリズムに合わせた表現活動	
6 年						
7 年 (中学校 1 年)	5. 球技（ネット型） ・ バレーボールの基本動作の定着（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ） ・ アタックの習得 ・ 3 段攻撃を意識したゲーム	6. 武道（剣道） ・ 礼法や剣道の歴史について学ぶ。 ・ 基本動作の振り返り（竹刀の握り方、振り方、簡単な足さばき） ・ 剣道の要素を入れた遊び。（ボール打ち、新聞切り）	<跳び箱> ・ 基本となる技の習得（開脚跳び、抱え込み跳び） ・ 発展技の習得（屈伸跳び・前方倒立回転跳び）	7. スキー ・ 応用的な滑り方を身に付ける（パラレルターン、ゲレンデ状況に合わせた滑り方）	8. 表現活動 ダンス ・ 自分たちで振り付けを工夫した表現活動	
8 年 (中学校 2 年)						
9 年 (中学校 3 年)	5. 球技（ネット型） ・ バレーボールの発展 ・ クイック等の習得 ・ 総復習ゲーム	6. 武道（剣道） ・ 礼法や剣道の歴史について学ぶ。 ・ 本格的な足さばき。（踏み込み足、連続打ち）	7. 器械運動 <マット> ・ 発展形の技の習得（ハndsプリング、伸膝前転、前方倒立回転飛びなど） <跳び箱> ・ 発展形の習得（開脚伸身跳び、側方倒立回転跳び）	8. ネット型スポーツ（卓球・バドミントン） ・ 基本技能 ・ シングルス、ダブルス ・ ミニ大会の企画運営		

※3年時より年間通して保健の学習も行われます。7年時より年間通して体育理論の学習も行われます。

技術 家庭

【目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを旨とする。

技術・家庭のポイント（3つの学び）

1. 家族・家庭生活 … 少子高齢社会の進展への対応
自分の成長と家族・家庭生活、幼児との触れ合い体験、高齢者など地域の人々との関わり
2. 衣食住の生活 … 食育の一層の推進、グローバル化への対応
食事の役割と栄養について、和食や和服など生活を豊かにする布を用いた製作、住居の機能と安全な住まい方や自然災害に備えた住空間の整え方について
3. 消費生活・環境 … 持続可能な社会の構築への対応
計画的な金銭管理について、消費者の権利と責任、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立

技術・家庭における身につけたい力

・家族・家庭、衣食住、消費や環境等について理解を図り、技能を身に付け、生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力、生活を工夫し創造しようとする態度などを育成する。

・生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、技能を身につけ、生活や社会の中から技術にかかわる問題を見出して課題を設定し、解決する力、適切かつ誠実に技術を工夫し、創造しようとする態度などを育成する。

【技術分野】

<目標>

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

・材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについての理解を深める。

・生活や社会の中から技術に係る問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなど課題を解決する力を養う。

・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野】

<目標>

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などの実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

技術・家庭におけるICT活用

学校で学んだことを家庭で実践したり、学校や家庭で調べた内容を活用したりして作成したレポートや資料をクラウドを通して学校に提出することができます。学校ではその情報をもとに、学習を深めていきます。

調理実習



洗濯学習



1.情報を
保存する

■家庭での学習

学校で習った味噌汁の作り方を実践。完成したものを写真などの映像に撮り、クラウドに送信。学校で学習のまとめや発表用として活用します。

2.情報を
活用する

■家庭での学習

学校での学習を活かし、家で実践。その結果を写真や動画で記録し、感想を書いてクラウドへ送信。情報を蓄積し、まとめとして活用します。

家庭での実践報告として、写真や動画で撮影しクラウドに保存します。それをもとに考えたり、振り返ったりしながら、より良い生活の実現に向けて学習を深めます。

実践発表



3.学びを
蓄える

■家庭での学習

今まで学習したことを、家庭学習の復習として活用します。小学校で学んだことを振り返り、中学校の学習で活かすことができます。

学んだことをクラウド等に蓄積していくことで、過去に学んだことを振り返りながら、理解を深めていきます。

年間の学習課程（前期）

技術分野

家庭分野

技術 家庭	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
5 年	家庭科のガイダンス	私の生活、大発見！	おいしい楽しい調理の力！	ひと針に心をこめて	持続可能な暮らしへ物やお金の使い方	
6 年	見つめてみよう生活時間	朝食から健康な1日の生活を	夏をすずしくさわやかに		思いを形にして生活を豊かに	
7 年 (中学校1年)	技術分野のガイダンス	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	材料と加工の技術による問題解決 身の回りの整理をしよう			
	家庭分野のガイダンス	食事の役割と中学生の栄養の特徴	中学生に必要な栄養を満たす食事		日常食の調理と地域の食文化	
8 年 (中学校2年)	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解決 品質の良い野菜を育てよう		社会の発展と生物育成の技術		エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	
	衣服の選択と手入れ		生活を豊かにするための布を用いた製作		消費者の権利と責任	
9 年 (中学校3年)	計測・制御のプログラミングによる問題解決 暑い夏を快適に過ごしたい				社会の発展と情報の技術	
	幼児の生活と家族		課題と実践	幼児の生活と家族		家族・家庭や地域との関わり

年間の学習課程（後期）

技術分野

家庭分野

技術家庭	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年	食べて元気！ ご飯とみそ汁	物を生かして 住みやすく	気持ちがつながる 家族の時間	ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活	5年生のまとめ	生活を変えるチャンス！
6年	思いを形にして 生活を豊かに	まかせてね 今日の食事	冬を明るく暖かく	あなたは家庭や地域の 宝物	2年間のまとめ	
7年 (中学校1年)	材料と加工の 技術による 問題解決	工と社会の 材料の技術と 発展	情報の技術の 原理・法則と 仕組み	双方向性のあるコンテンツの プログラミングによる問題解決 クラス連絡を正確にしたい	日常食の調理と地域の食文化	消費者の権利と責任 「環境」 生活の課題と実践
8年 (中学校2年)	エネルギー変換の 技術の原理・ 法則と仕組み	エネルギー変換の技術による問題解決 暑い夏を快適に過ごしたい	社会の発展とエネルギー変換の技術	住居の機能と 安全な住まい方	消費者の権利と責任 「環境」	金銭の管理と購入 消費者の権利と責任 家族・家庭生活と地域
9年 (中学校3年)	技術分野 の学習を 終えて	家庭分野 の学習を 終えて				

外国語

【目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す。

外国語のポイント（5つの領域）

1. 聞くこと…必要な情報を聞き取ることや話の概要・要点を捉えることができるようになる
2. 読むこと…必要な情報を読み取ることや文章の概要や要点を捉えることができるようになる
3. 話すこと（やり取り）…考えや気持ちを伝え合うことができるようになる〔即興性〕
4. 話すこと（発表）…考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるようになる〔即興性〕
5. 書くこと…考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を正確に書くことができるようになる

外国語における身につけたい力	
1年	・ 英語や外国の文化に触れ、早い段階から、英語に多く触れ、慣れ、楽しむ
2年	
3年	・ 言語や文化について体験的に理解を深める・日本語と英語の音声の違い等に気づく・音声や基本的な表現に慣れ親しむ
4年	・ 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝えあう ・ 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする
5年	・ 音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と英語の違いを理解し、基礎的な技能を身につける・読むこと、書くことに慣れ親しむ
6年	・ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えあう・音声で十分慣れ親しんだ語彙や表現を読んだり書いたりして自分の考えや気持ちを伝えあう ・ 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする
7年 (中1)	・ 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。
8年 (中2)	・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
9年 (中3)	・ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人

英語におけるICT活用

3・4年
アルファベット

学校で、学習の準備や習ったことの復習、振り返りに活用していきます。家庭で取り組んだ内容を、クラウドに送ると、担任が確認したり、教室で共有したりすることができます。また、ファイルを開くと学校で編集し、作業の続きを行うことができます。



6年

My summer vacation

2.準備する

1.共有する

■家庭での学習

学習の準備として、夏休みの思い出を写真に残します。この单元では、夏休みの思い出を伝え合うことを目標としています。交流するときに、写真を見せながら発表することができます。



■家庭での学習

「アルファベット」の学習で習ったことを家庭の学習で振り返ります。身の回りにアルファベットで書かれた言葉を見つけたら、写真に撮って、クラウドに送ります。身の回りのローマ字に興味・関心を向けることを目的としています。

7～9年

(中学校1～3年)



ロールプレイやパフォーマンステストなどを行う際、その様子を動画で撮影し、保存します。それをもとに振り返り → 考察 → まとめを行い、個々の問題解決に役立てます。

3.表現する

■家庭での学習

今まで学習したことを、家庭学習の復習として活用します。小学校で学んだことを振り返り、中学校の学習で活かすことができます。

■家庭での学習

テーマに沿って自分の考えを英語で表現します。まとめたものを共有フォルダに保存し、学校でそれをもとに意見や感想を伝え合います。多様な文化や考えに触れながら学習を深めていきます。



学んだことをドライブのマイフォルダ等に蓄積していくことで、過去に学んだことを振り返りながら、深い学びにつなげていきます。

4.学びを
深める

年間の学習課程（前期）

外国語	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年		1. あいさつと数 (1~10)	2. 色	3. 果物	4. 動作	5. 動物
2年		1. あいさつと数 (1~12)	2. 色とアルファベット	3. 野菜	4. 動作と食べ物	5. 動物と鳴き声
3年	1. あいさつ	3. 数えて遊ぼう		5. 何が好き		7. カードを送ろう
	2. ごきげんいかが		4. 好きなものを伝えよう		6. アルファベット大文字	
4年	1. 世界のあいさつ	3. 曜日		5. おすすめの文房具セットをつくる		
	2. 好きな遊びを伝える		4. 時間			6. アルファベット小文字
5年	1. 自己紹介		3. 夢の時間割作成			5. みんなの「できること」を集める
		2. 誕生日カレンダー作成		4. 自由な一日の過ごし方を伝える		
6年	1. 5年までの復習	3. おすすめの場所		5. 夏休みの思い出		
	2. 自己紹介		4. 好きな日本の文化			6. 行きたい国
7年 (中学校1年)	be 動詞 一般動詞	疑問文 否定文	一般動詞 (三単現)	過去形		現在進行形
8年 (中学校2年)	SVOD 文	過去進行形	不定詞	未来表現		動名詞
9年 (中学校3年)		現在完了	現在完了進行形	後置修飾		関係代名詞

年間の学習課程（後期）

外国語	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	6. ハロウィン	7. 乗り物	8. クリスマス	9. 体の部位	10. 数を使って	
2年	6. ハロウィン	7. 形	8. クリスマス	9. 学校で使うもの	10. 数と時間	
3年	7. カードを送ろう	8. これなあに	9. きみはだれ			
4年	7. ほしい物は何か	9. ぼく・わたしの一日				
	6. アルファベット小文字	8. お気に入りの場所を紹介する				
5年	5. みんなの「できること」を集める	7. オリジナルメニューを作ろう	9. 友達になってみたい人を紹介しよう			
	6. 行ってみたい都道府県を伝えよう	8. 目的地の行き方を伝えよう	10. まとめ			
6年	7. 世界で活躍するスポーツ選手	9. 将来の夢			11. まとめ	
	6. 行きたい国	8. 小学校の思い出	10. あこがれの中学校生活			
7年 (中学校1年)	疑問詞	助動詞	未来表現	There文	1年生のまとめ	
8年 (中学校2年)	不定詞	比較	受け身	間接疑問文 感嘆文	SVOC文	2年生のまとめ
9年 (中学校3年)	仮定法	3年間のまとめ				

特別支援

【目標】

障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みのために、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために必要な「生きる力」としての資質・能力の育成を目指す。

特別な支援を要する児童生徒のための4つのキーワード

1. 教育課程の再編成

児童生徒の実態に応じて、下学年の学習内容や特別支援学校の指導内容を選択したり、知的発達の遅れを有する場合は「教科・領域を合わせた指導」を取り入れるなど、自立活動を含めて再編成し直すことで、個の発達支援が効果的に進められます。

2. 学びの連続性を重視した対応

インクルーシブ教育の推進に伴い、通常の学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校など、多様な学びの場が教育相談にて検討され就学に向けた整備が進みます。幼・小・中・高の教育課程の連続性も重視され、合理的配慮に基づく教育支援を踏まえ、交流及び共同学習が進められます。

3. 障がいの多様化への対応

障がいの特性に起因する学習上又は生活上の困難を改善・克服するため、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導が組織的・継続的に行われます。

4. 長期的視点での教育的支援の充実

家庭・学校・関係機関（発達支援センター・医療・福祉・行政支援など）が相互に連携し、個の教育的ニーズに応じた効果的な指導支援の分担・協力が効果的に行われます。

特別支援学級の学習 「自立活動」とは…

特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室の教育課程において、特別に設けられた指導領域です。個々の障がいによる、学習上または生活上の困難を改善・克服するための態度および習慣を養い、心身の調和的発達を促すための視点から6区分27項目に整理された内容について必要に応じて取り上げられます。

6つの区分：各区分の中に示されている指導内容27項目から一部抜粋

- 健康の保持：生活リズムや生活習慣の形成。病気の状態と生活管理に関すること
- 心理的な安定：情緒の安定、状況の理解と変化への対応に関すること
- 人間関係の形成：他者の意図や感情の理解、自分の理解と行動の調整に関すること
- 環境の把握：保有する感覚の活用、感覚や認知の特性の理解と対応に関すること。
- 身体の動き：姿勢と運動・動作の基本的技能、必要動作の円滑な遂行に関すること。
- コミュニケーション：言語の受容と表出、状況に応じたコミュニケーションに関すること。

育成すべき資質・能力を支える土台として、児童生徒の実態に応じて内容を決定します。

(例) 教科「こくご」における学習指導の目標設定の違い

育成を目指す資質・能力の視点 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力・人間性

特別支援学校(知的障がい学級) 「こくご」指導目標一部抜粋 *個々の発達のため	発達 段階	小学校・中学校 「国語」指導目標一部抜粋 *学年としての目標
①日常生活に必要な言葉がわかる。 ②言葉を受け止めイメージする。 ③言葉を使おうとする。	1年 2年	①日常生活に必要な知識や技能を身につけ我が国の言語文化に親しんだり理解する。 ②順序立てて考える力、伝え合う力を高め思いや考えを持つ。 ③思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
①日常生活に必要な言葉を身につける。 ②言葉が表す事柄を想起できる。 ③言葉でのやり取りを聞いたり伝えようとする。	3年 4年	①日常生活に必要な知識や技能を身につけ我が国の言語文化に親しんだり理解する ②筋道立てて考える力を養う。自分の思いや考えをまとめることができる。 ③思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
①日常生活に必要な国語の技能を身につける。 ②出来事の順序を思い出す・伝え合う力を身につける。 ③思いや考えを伝えたり受け止めたりする。	5年 6年	①日常生活に必要な知識や技能を身につけ我が国の言語文化に親しんだり理解する。 ②筋道立てて考える力を養う・自分の思いや考えを広げることができる。 ③思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
①社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。 ②筋道立て考える力を養う・伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。 ③国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	7年 (中1) 8年 (中2) 9年 (中3)	①社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。 ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養う。自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 ③言葉が持つ価値を認識する。思いや考えを伝え合おうとする。

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人



特別支援教育におけるICT活用

身体的障がいに起因する学びづらさの軽減のために
「見づらい・聞きづらい・伝えづらい・動きづらい」状況をサポートするツールとしての活用

障がいの状態や特性に伴う「学びにくさ」の程度は、個人差が大きく多様です。そのため、「学びにくさ」をサポートする用具としてICTが有効な支援ツールとなります。機械を使うことを目的とするのではなく、学びのサポートツールとして活用することで、学習の効果を高めることが期待されます。

知識・技術に関する学習効果の向上

視覚的情提示による学習内容のイメージ化・情報収集・活用の能力の育成・反復学習の補助具としての活用

新しい知識を学習する場面で、イラストや資料画像など即時に情報検索し、視覚支援をすることで、効率的な学びを進めるツールとなります。また、コミュニケーションに関する課題がある場合にも、理解を補助したり意思表示を支援したりするツールとして活用することで、仲間との意思疎通の補助効果が期待されます。

シート④ 教育支援（長期の目標）

個別の教育支援計画（④教育支援（長期））

○長期的な見通し

本人の希望
(将来の夢・やりたいこと)

保護者の願い
(希望に即した将来像)

支援者(担任)から
見た教育的ニーズ

児童生徒本人の意思を尊重できるよう、将来的見通しに基づく保護者の願いも共有しながら支援の見通しを記録していきます。



○長期的支援の視点から考える 目標設定（保護者設定）

生活面（心理的発達課題も含む）の目標設定

年度
年度
年度
年度
年度
年度
年度
年度

「学習面」と「生活面」の二つの視点で、保護者がイメージするお子様の成長を踏まえて設定します。
単年度で、計画・支援・評価を行うことで、学校・家庭・関係機関の連携や協力分担を再確認できるようになります
1枚のシートで在籍年数分記録しますので、「長期の見通し」の見直しがスムーズに行われます。

学習面（身体的発達課題も含む）の目標設定

年度
年度
年度
年度
年度
年度
年度
年度

シート⑤ 教育支援 ○年（短期の目標）

個別の教育支援計画（⑤教育支援・1年）

○短期的支援の視点から考える 目標設定（担任設定）

生活面（心理的発達課題も含む）の目標 【前期】

【前期の反省】

学習面（身体的発達課題も含む）の課題目標 【前期】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

【前期の反省】

現状の発達段階や「保護者・本児の願い」と、専門的立場からの見立てとしての教育的ニーズも含め目標設定します。

単年度で、「計画・支援・評価・修正」を行い支援の方向性を安定化させながら次年度につなげます。評価・修正のために、半年ごとに、「反省」を記録します。学年1枚のシートとなるので、9年間の在籍で9枚の記録が残ります。

『個別の教育指導計画』（短期）

支援を必要とする児童生徒一人一人について、設定された『個別の教育支援計画』を基盤に作成されます。在籍する学校の教育活動を踏まえ、担任が一年間（短期的）のスパンで「支援の目標や内容、手立て」について、より具体的な支援の見通しを計画します。

お子様の成長や支援方法の修正について、個人懇談や連絡帳などを通して定期的に保護者と評価確認をしながら改善されていきます。様式は、学校独自の物で担任が作成します。

当別町立学校シラバス
学びのハンドブック

発	行	当別町教育委員会
編	集	当別町学校教育研究推進協議会
発 行	日	令和4年3月末日
印	刷	有限会社松岡商事



とうべつ学園



西当別小学校



西当別中学校

学校名		名前	
-----	--	----	--